

7 若年妊娠・高年妊娠

1. 若年妊娠・高年妊娠出生率の年次推移

	1960	1970	1980	1990	2000	2005	2010	2011	2012	2013	2014	2015
15～19歳出生率(女性人口千対)	4.3	4.5	3.6	3.6	5.4	5.2	4.6	4.5	4.4	4.4	4.5	4.1
35～39歳出生率(女性人口千対)	24.0	19.8	12.9	20.8	32.1	36.1	46.2	47.2	49.5	52.5	54.0	56.4
40～49歳出生率(女性人口千対)	5.5	2.9	1.8	2.4	4.0	5.1	8.3	8.5	9.4	10.2	10.7	11.3
20歳未満出生割合(%)	1.2	1.0	0.9	1.4	1.7	1.6	1.3	1.3	1.2	1.3	1.3	1.2
35～39歳出生割合(%)	4.9	4.2	3.7	7.6	10.6	14.4	20.5	21.1	21.7	22.3	22.5	22.7
40歳以上出生割合(%)	1.0	0.5	0.4	1.0	1.2	2.0	3.3	3.7	4.2	4.6	5.0	5.3

2. 年齢別低出生体重児の割合, 死産率, 周産期死亡率(2015年)

	総数	～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上
低出生体重児の割合(%)	9.5	10.0	9.0	8.7	9.1	10.4	12.3	17.7
死産率(出産千対) ¹⁾	22.0	144.7	37.7	16.2	15.5	21.3	37.7	89.9
自然死産(出産千対)	10.6	13.3	8.8	8.3	9.6	13.1	18.7	25.4
人工死産(出産千対)	11.4	131.4	28.9	7.8	5.9	8.3	18.9	64.5
周産期死亡率(出産千対) ²⁾	3.7	4.3	3.3	3.2	3.2	4.4	6.4	9.9
妊娠満22週以後の死産率(出産千対)	3.0	3.5	2.8	2.6	2.7	3.6	4.9	8.3
早期新生児死亡率(出生千対)	0.7	0.8	0.5	0.6	0.5	0.8	1.5	1.5

資料：厚生労働省 人口動態統計

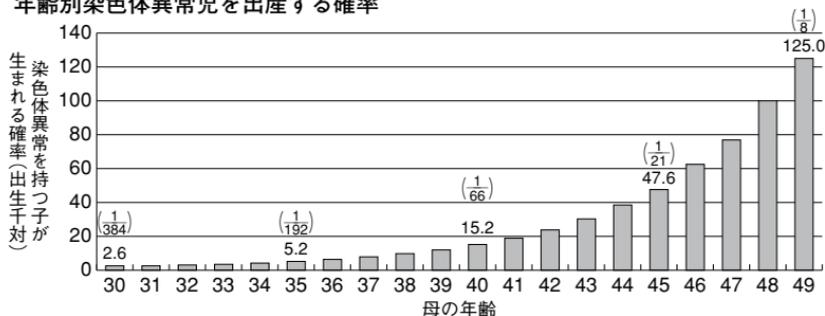
注1) 死産率は死産数(妊娠満12週以降の死産の出産)を出産数(出生と妊娠満12週以降の死産の和)で除している。19歳以下は15～19歳, 45歳以上は45～49歳。総数には15歳未満, 50歳以上及び不詳を含む。

2) 周産期死亡率は周産期死亡数(妊娠満22週以降の死産数と早期新生児死亡数の和)を出産数(出生と妊娠満22週以降の死産数の和)で除している。

3. 若年妊娠・高年妊娠のリスク

若年妊娠のリスク(10代の妊娠)	高年妊娠のリスク(35歳以上の妊娠)
<ul style="list-style-type: none"> 望まない妊娠 人工妊娠中絶の増加 シングルマザー・未婚の増加 経済的・心理的不安 児童虐待リスクの増加 周産期死亡率の増加 低出生体重児の割合の増加 	<ul style="list-style-type: none"> 卵巣機能の低下(卵子数の減少, 卵子の質の低下) 妊娠を阻害する疾患合併(子宮内膜症, 子宮筋腫, 子宮腺筋症など) 不妊治療の増加(38歳以上では不妊治療成功率の低下) 多胎妊娠の増加 流産率の上昇 胎児異常の増加(染色体異常, 胎児奇形等) 妊娠合併症の増加(妊娠糖尿病, 前置胎盤, 常位胎盤早期剥離など) 低出生体重児の割合の増加 帝王切開率の上昇

4. 年齢別染色体異常児を出産する確率



資料：厚生労働省 女性の年齢と子どもの染色体異常のリスク